

グローバル人材育成プログラム 報告

拝 藤 巧

Takumi HAITO

電子情報通信課程 3年

サンフランシスコ体験記

サンフランシスコ。この都市の名前を聞くと、心はワクワクと興奮に満ち溢れる。私の海外研修は初日からこの美しい都市を堪能することになった。

この海外研修の初日から3日目までの間、私はあまり英語を使用する機会に恵まれなかった。これは、一緒に研修に来た大学のメンバーとほとんどの時間を過ごしていたためだ。英語の環境に身を置くことの機会の代わりに、メンバーたちとの絆を深めることができた。私たちは、サンフランシスコの多くの体験名所を巡り、共有する時間を通して、互いの理解や信頼を深めていった。

1日目は、アメリカの生活になれるところから始まり、慣れない物価に驚きながらこれからの生活に覚悟をした。

2日目からは、シリコンバレーの探訪というとても楽しみに思っていた日程が待っていた。シリコンバレーと言えば、テクノロジーのメッカとして世界中からの注目を浴びる場所で、理系の学生には憧れの場所である。私たちは、いくつかの著名な企業を訪問し、その圧倒的な技術力と独特のカルチャーに触れる機会を持った。

シリコンバレーの企業の方々からは、製品開発の話や、会社の誕生秘話、ビジョンについて熱く語っていただいた。特に、実際に製品を体験できるセッションでは、先端技術の可能性や驚異を肌で感じることができた。また、企業が提供してくれる社員食堂での食事は、一般のレストランとは一味違う、独特の雰囲気を楽しむことができた。社員の方々がりラックスして食事をとる様子や、カジュアルに会話を楽しむ姿を見て、企業文化の一端を垣間見ること

ができた。

何よりも心に残ったのは、アメリカでの仕事の魅力や、企業がどのようにして生まれ、育ってきたのかという背景を伺うことができたことだ。これらの話を聞く中で、自分自身のキャリアに対するビジョンや、これからの挑戦に対するモチベーションが大きく湧き上がってきた。

訪問先の企業それぞれのお土産ショップでは、ユニークなグッズを購入することができた。これらのグッズは、この研修の思い出を形に残すだけでなく、私の未来への熱意や情熱を刻んだ証として、私の部屋に飾っている。

シリコンバレーの訪問は、私の人生において大きなインパクトをもたらす経験となった。それは、新しい技術やビジョンを追い求める情熱を持つ人々との出会い、そして自分自身の未来に対する考え方を深める機会となったからだ。

サンフランシスコ滞在中、私はホストファミリーとともに素晴らしい時間を過ごすことができた。彼らとの出会いは、この研修をさらに特別なものとして、私の記憶に深く刻まれることとなった。

私は日本から様々なお土産を持参していた。これが良いアイスブレイクとなり、初対面とは思えないほど、家族との距離がぐっと縮まった。特に、彼らの4歳の息子と6歳の娘との関係は急速に深まった。毎日、彼らと遊んだり、おもちゃを買ってきて一緒に楽しんだりするうち、私は家族の一員のように扱われるようになった。子供たちとのかけがえのない時間は、私に寂しさの緩和と喜びをもたらした。

特に印象的だったのは、子供たちの英語能力に驚かされたことだ。当たり前のことだが彼らの英語の発音や語彙力は、私よりも圧倒的に優れていた。そして、彼らは自分の言葉を通して私に新しい言葉や表現を教えてくれた。彼らの無邪気な笑顔や、私にしてくる純粋な疑問を通して、私の英語力を高めることができた。

最終日には、迎えの車が来る時間までも、かくれ

んぽと一緒に楽しんでいた。その時には、共に過ごした時間の価値を感じることができた。

ホストファミリーとの日々は、私にとって大切な経験となった。彼らとの関係は、宿を提供してくれるだけのものではなく、人と人との繋がり的重要性を実感できるものだった。

最後に、サンフランシスコでのインターン体験は私にとって、自己成長や自己啓発の場として非常に意義深く、かけがえのない経験となった。最初の段階での接客業務の多忙さや、英語を十分に活用する機会が思うように得られなかったため、本当にここでのインターン活動が自分の能力やスキルの向上に繋がるのか、正直なところ疑問に思っていた。店は常に多くの客で賑わっており、私の主な業務はその多くがお客様の要望やニーズに対応することだった。そのため、実際の英語の勉強や学びの時間は、想像以上に限られていた。

しかし、夏休みが終盤に差し掛かると、その状況は劇的に変わった。店内の雰囲気は少し落ち着き、私と同僚たちとのコミュニケーションの機会が増えた。私はこの状況変化を大きなチャンスととらえ、意識的に同僚たちとの英語でのコミュニケーションの量や質を増やす努力をした。疑問や感じたこと、日常の出来事を率直に共有することで、日常英会話のスキルは劇的に向上していった。そして、毎日のコミュニケーションを継続することにより、私は英語のフレーズや表現、さらには文化的な背景や習慣を深く学ぶことができた。数週間後には、私は日常の会話を驚くほど自然に、かつスムーズに行えるようになった。

このインターン体験を通じて、私は自分の英語能力が大きく向上したと実感できた。そして振り返ってみると、環境の変化や困難な状況に対する柔軟な対応能力と、前向きで積極的な態度が、自分自身の成長を後押しした大きな要因だと感じている。また、この経験を通じて、どんな新しい環境や難しい状況に直面しても、自分自身を向上させ、成長させる

方法の大切さを深く学び取った。

さらに、このサンフランシスコでの滞在を通して、私は日本とは根本的に異なるアメリカの文化や生活様式、価値観を深く体感する機会を得た。日常の生活習慣から、人々の思考や感じ方、さらには地域の安全性や社会の仕組みに至るまで、数々の違いや独自性を実感し、体験することができた。これらの違いを直接体験することで、私は日本という国の多くの面での安全性や、どれほど恵まれた環境に生まれているかを再確認し、感謝の気持ちを新たにしました。

大きな要因だと感じている。また、この経験を通じて、どんな新しい環境や難しい状況に直面しても、自分自身を向上させ、成長させる方法の大切さを深く学び取った。

さらに、このサンフランシスコでの滞在を通して、私は日本とは根本的に異なるアメリカの文化や生活様式、価値観を深く体感する機会を得た。日常の生活習慣から、人々の思考や感じ方、さらには地域の安全性や社会の仕組みに至るまで、数々の違いや独自性を実感し、体験することができた。これらの違いを直接体験することで、私は日本という国の多くの面での安全性や、どれほど恵まれた環境に生まれているかを再確認し、感謝の気持ちを新たにしようとする。



写真1 コイトタワーからのサンフランシスコの眺め